

HopStepJump 4

<https://toyono-jinikyo.com/>

人権について考える①

一人権尊重と子ども理解ついてー

あーよかったな 先生になって ～「つながりと感動」、そして「笑顔」～

初任者研修・新規採用者研修第3回は、兵庫県西宮市で教員や指導主事を経験され、現在は教育サポーターとして活躍されている仲島正教先生を講師にお招きして講義をおこなっていただきました。子どもとの関わり方や温かいつながりについて数々のエピソードと共に、仲島先生のこれまでの実践をもとに人権教育を基盤とした子ども理解や集団づくりについてお話していただきました。子どもたちとの出会いから1か月が経った時期に、改めて学校で働く「先生」という仕事について考える機会になりました。



～振り返りシートから～

- ・今回の研修で、改めて教師は教えるのではなく「育てる」という仕事なんだと学ぶことができました。もっと子どもたちの未来を応援できるような教師になりたいと強く思いました。
- ・困った子は「困っている子」であり、その子たちが分かると思える瞬間をたくさん作りたいです。かまぼこ先生にならず、自ら動いて子どもと関係を作っていきたいと思いました。
- ・小学校では、とにかく遊ぶ、足を動かすことが大切だと感じました。あらゆる場面で、子どもの行動を表面的に見るのではなく、その背景を知ろうとする態度が大事だと思いました。
- ・1日のどこかの休み時間に1回は子どもと一緒に遊び、自分自身が楽しむことを明日からの目標にしたいと思います。
- ・講義を聞くだけでなく、合間に他の初任者の皆さんと交流するタイミングがあったり、体験的に学ぶ場面があったりすることで、実感しながら受講することができました。



講義の中で、そばに行くから「わかる」、わかるからこそ接し方やかける言葉や「かわる」というお話がありましたが、子どもや保護者と関わるうえで、何となく「敬遠」してしまうことはありませんか？自分から歩み寄る姿勢、積極的に知ろうとする気持ちこそが他者理解につながります。ぜひ自分なりの関わり方、つながり方を考えてみてください。校内で先輩方に「関係の築き方」について聞いてみるのもよいですね。

今回の講義は、「今の自分」、「これからの自分」について考える機会になったことでしょうか。一学期のようすと結びつけ、今回の研修で理解できたことや、新たに考えたこと、思いついたことをもとに、まずはやってみて、そこから気づいたことや分かったことを確実に自分の中に溜めていってください。これからも試行錯誤する自分を大切にしてください。そして、自分自身が未来志向・上昇志向で過ごしてください。前向きな姿は必ず周りにより影響を与えます！！